

外付ブラインド EB LIXIL ブラインドユニット/ボックス(ユニットケース/フロントカバー)/ガイドレール 取付け説明書



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- ブラインドユニットの外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
 - ・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。図面のない場合は、打診、壁裏探知機、下地探し針、壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。
 - ・ねじは必ず、躯体に $2.4\text{N}\cdot\text{m}$ { $24\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }以上のトルクで締付けてください。
 - ・躯体へのねじ込み深さは 30mm 以上確保してください。
 - ・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。

▲注意

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品を取付ける前に必ずサッシの周囲にシーリングされていることを確認の上、取付けてください。
 - ・躯体へのねじ固定は必ず $\phi 3.5$ のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。又、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。
 - ・本製品を取付ける際は必ず指定の個所へシーリングをしてください。
 - ・枠まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がのりやすくなるように下地処理を必ず行ってください。
 - ・サイドキャップをねじ止めするねじは、 $2.5\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ { $25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。
 - ・AC100V配線はVVF1.6mm以上をご使用ください。
 - ・電源線、アース線は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたりしないでください。
 - ・作動確認終了後、電源線、アース線をユニットケース内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線をユニットケース内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。
- 作動確認をする際は、外付ブラインドの下に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- リモコンはリモコン取付け時、お子様の手の届かない位置に取付けてください。誤って人・物が挟まれてケガや故障につながるおそれがあります。
- ブラインドユニットを取付けた際にはトップレールブラケットのアームが確実に閉じていることを確認してください。ブラインドユニットが落下してケガをするおそれがあります。

■動画一覧

・現場調査



601096084001

・施工



6010963794001

・設定・確認

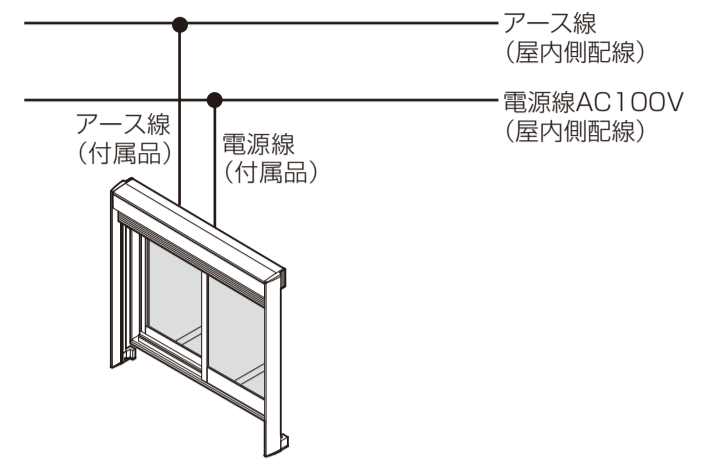


6010963013001

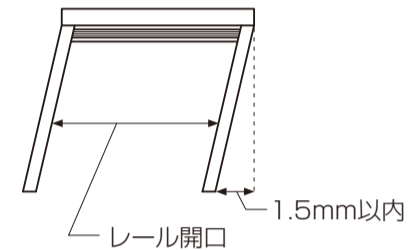
■取付け上のお願

- ボトムブラケット・ユニットケースは水準器等で水平に取付け、サッシ開口に対して左右均等になるように取付けを実施してください。
- ガイドレールは垂直に取付け、レール開口が上下、中央で差が出ないようにしてください。【図1】
- 枠取付けの際、180mm程度のビット・ドリルを用意してください。
- この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。作動前に供給電源が常に定格電圧範囲(95~107V)であることをご確認ください。
- 屋内配線と接続する場合、内装工事前に配線工事をご依頼ください。
- ※外付ブラインドの電源線、アース線はサッシ上枠の上面から200mm程度の中央付近の位置になります。
- 電気配線工事を依頼される際は下図(外付ブラインド取付け範囲)を参考にしてください。(開口中央付近を推奨します)
- 電源線(付属品)・アース線(付属品)をそれぞれ所定の位置へ配線してください。
- ※電源線、アース線はくぎ打ちされないよう配線してください。
- ※アース工事は必ず行ってください。
- 浴室など、湿気の多い場所への取付けはしないでください。
- 腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所および薬品を常時使用するような場所には取付けしないでください。

■配線図



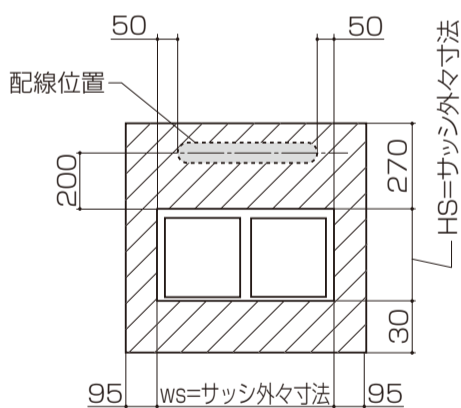
【図1】



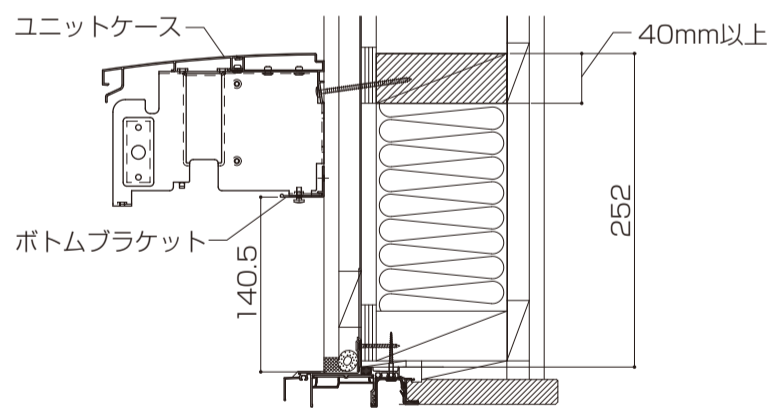
■躯体・外壁材・開口部の確認

- 外付ブラインドを取付ける前に下記の内容を確認してください。
- 1.外付ブラインドを取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには下図(外付ブラインド取付け範囲)斜線部のスペースが必要です。
- ※サッシの種類・形状によっては、取付け範囲が大きくなりますのでご注意ください。
- 2.外壁厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合には取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
- 3.外壁の種類は窯業サイディング・モルタル壁・金属サイディングですか。その他の外壁には取付けできません。
- 4.外付ブラインド取付け面からのサッシの出寸法(網戸含む)は40mm以下ですか。40mmを超える場合には取付けできません。
- 5.外付ブラインド固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合には取付けできません。(下図(躯体の確認))
- 6.外付ブラインド出幅方向で何かに当たりませんか。外付ブラインドの施工およびメンテナンスのため、下図(フロントカバー取付けスペース)のスペースを確保してください。
- 7.外付ブラインド取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。
- 8.外付ブラインド取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。
- 9.外付ブラインド取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合には取付けできません。

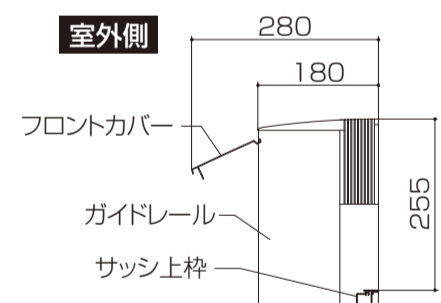
■外付ブラインド取付け範囲



■躯体の確認



■フロントカバー取付けスペース



■取付け部品・ねじ一覧表

バインドコースレッドねじ φ4.2×75	バインド小ねじ M4×12(4本)	平バインド小ねじ M4×5(4本)	トラス小ねじ (ゆるみ止め付き) M4×10(4本)	バインド小ねじ (ゆるみ止め付き) M4×12(3本)

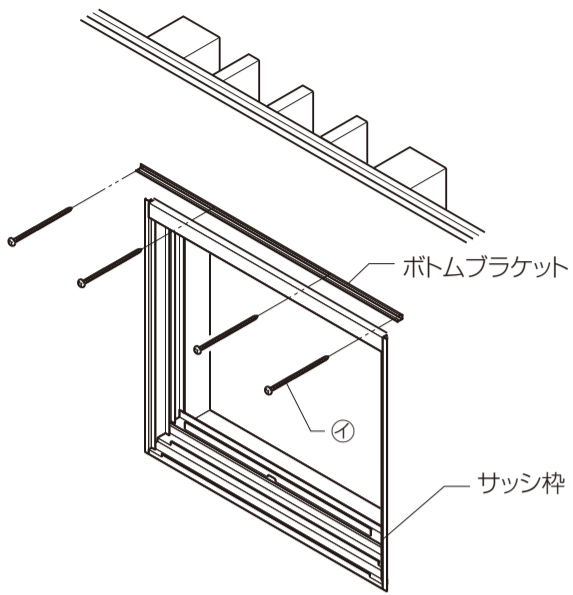
リモコン	リモコンホルダー

同梱部品

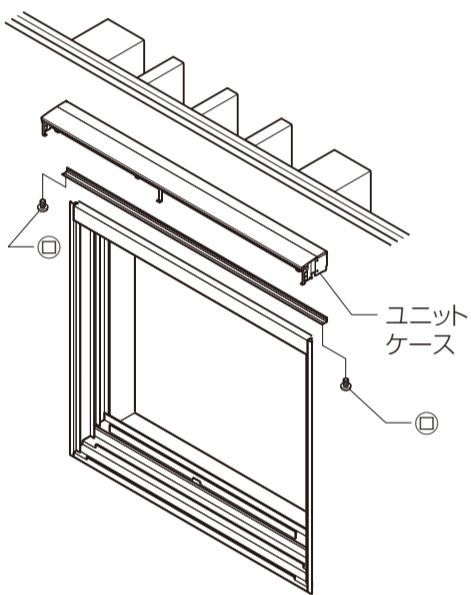
サイドキャップ L/R	下端ブラケット L/R	下端ブラケットカバー L/R	下端ブラケットキャップ L/R	結束バンド

■ 取付け手順

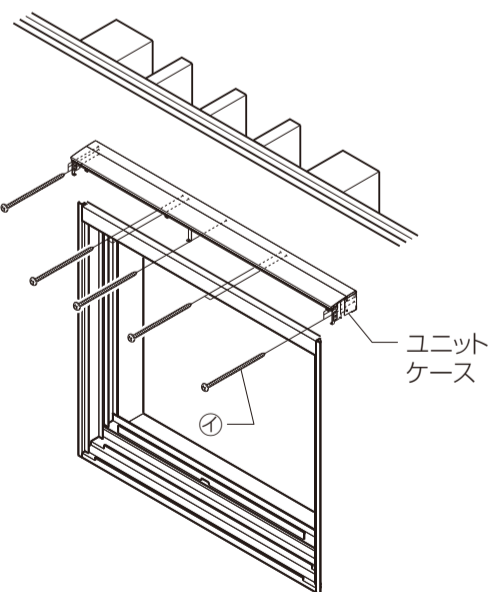
1 ボトムブラケットの取付け



2 ユニットケースの仮固定

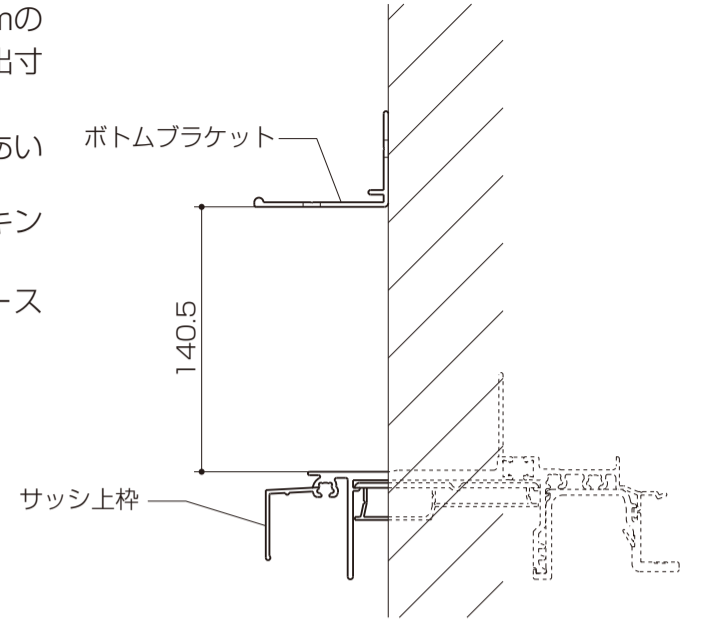


3 ユニットケースの固定



■ 取付け手順

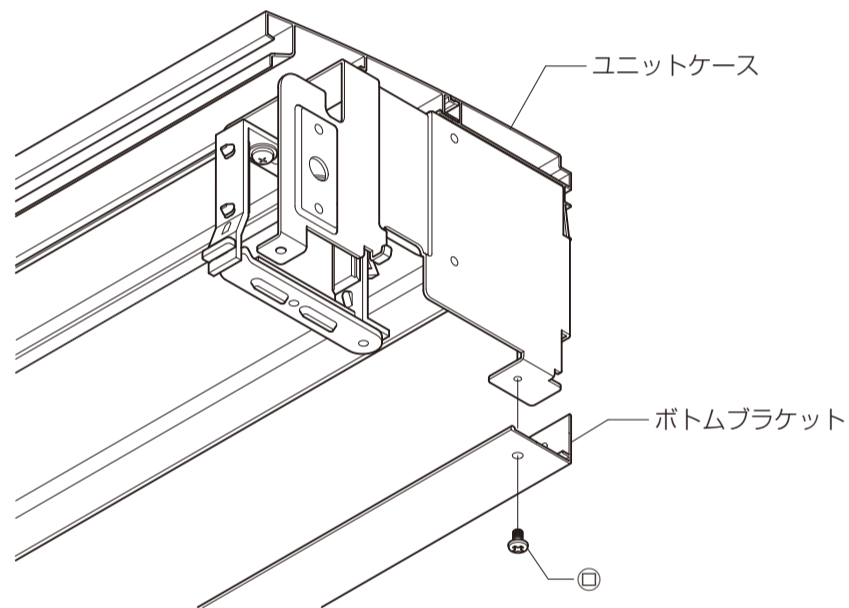
- ①ボトムブラケットをサッシ上枠上面から140.5mmの位置になるよう位置決めし、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にします。
- ②水準器で水平を確かめながら、ボトムブラケットにしている穴に合わせて下穴をけがきます。
- ③けがきにに合わせて壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
- ④ボトムブラケットの穴に合わせて①バインドコースレットねじを締めこみます。



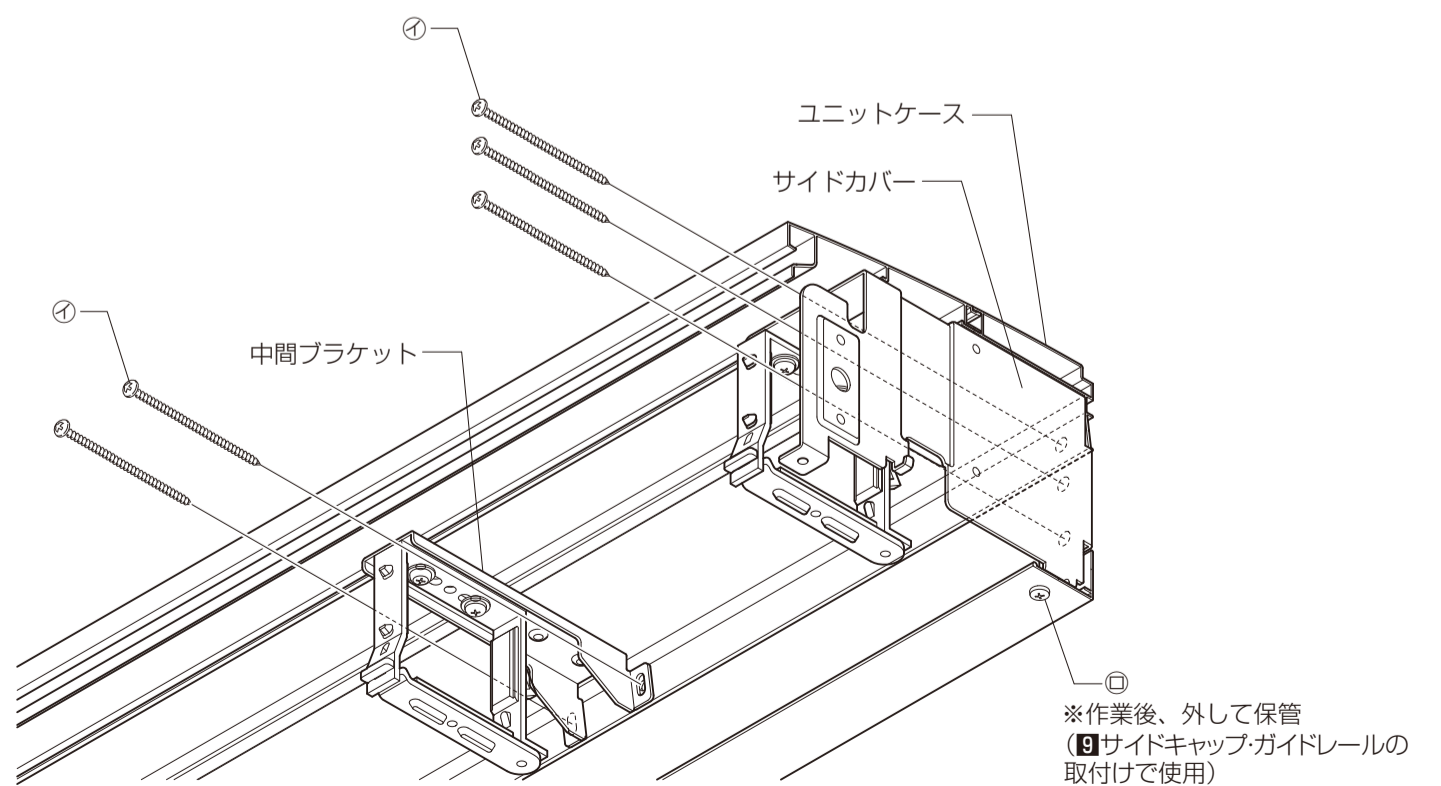
ボトムブラケット水平面両端に開いている穴とユニットケース下面に開いているサイドカバーの取付け穴を合わせて④バインド小ねじで仮固定をします。

●お願い●

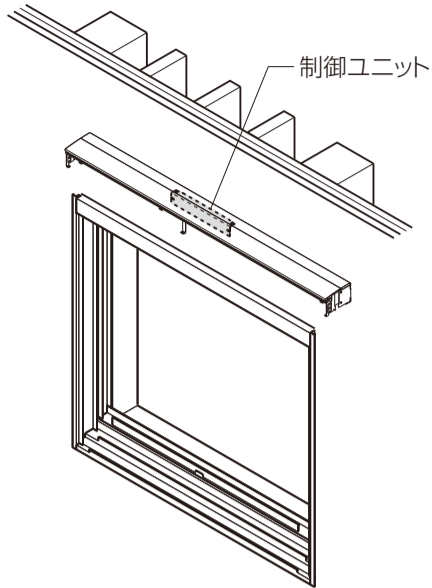
※ねじ頭がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



- ①上下の反りがないことを確かめながらユニットケース内側の穴に合わせて下穴をけがきます。
- ②けがきにに合わせて壁面にφ3.5の穴をあけ、下穴にコーキング材を充てんします。
- ③下穴に①バインドコースレットねじを締めこみます。
- ④固定が完了したら仮固定している④バインド小ねじを外して保管します。(9サイドキャップ・ガイドレールの取付けで使用)

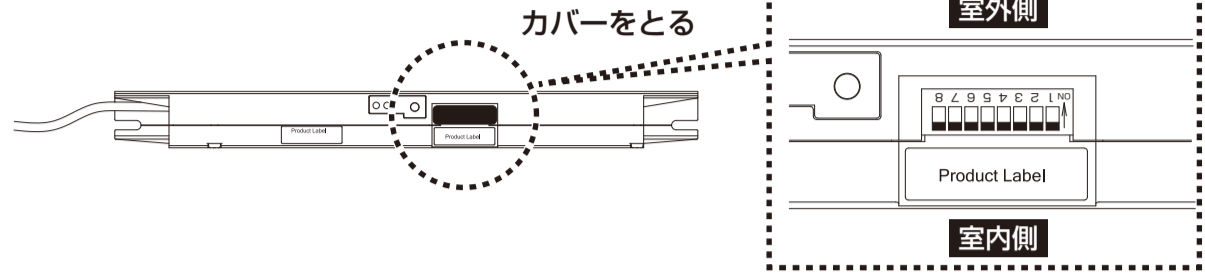


4 制御ユニットの設定変更

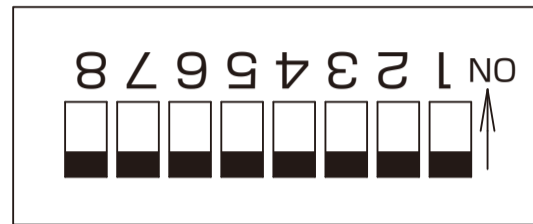


出荷時、ユニットケース内の制御ユニットのディップスイッチは全てOFFの状態になっています。カバーを外してディップスイッチの5番と6番と7番をONにしてください。変更後、カバーを取付けてください。

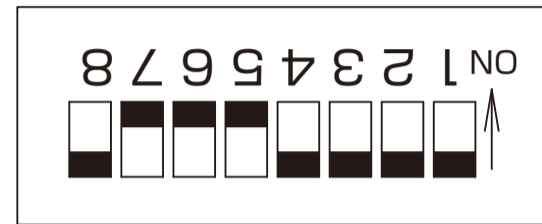
■制御ユニット



■出荷時



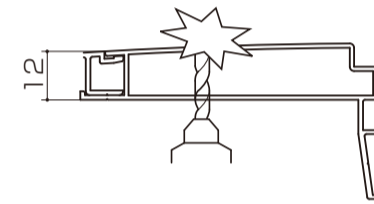
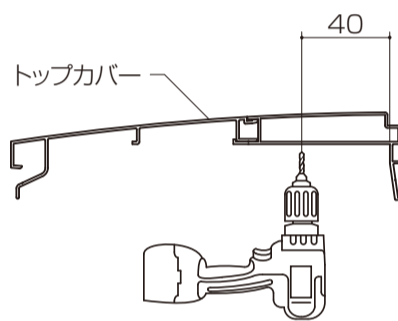
■5番と6番と7番ON



5 電源線・アース線の固定

ユニットケースの制御ユニットから出ている電源線・アース線を固定します。

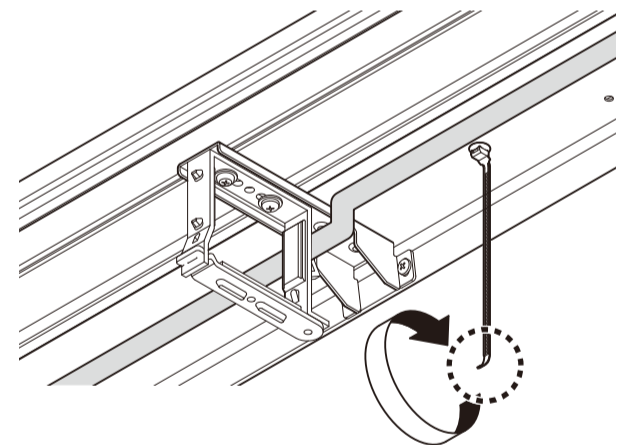
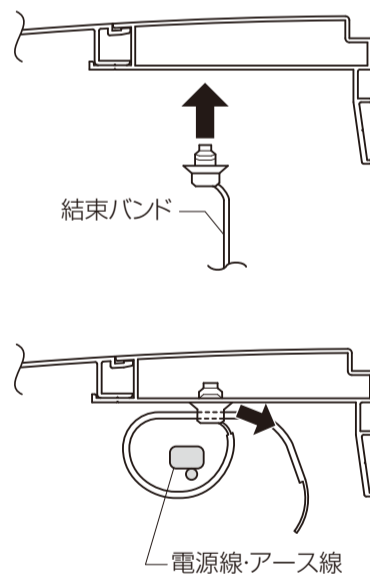
- ①現場状況に応じて配線を固定する位置を決め、トップカバーの任意の位置にφ4.5の穴を開けます。
※40mmをこえた位置に穴を開けると、ブラインドユニットと干渉しますので注意してください。



トップカバーの上面に貫通しないよう注意してください。
ドリルのチャックからの飛び出し量は12mm以下を推奨します。

- ②あけた穴に結束バンドを差込んで取付けます。

- ③ブラケット等を避けて電源線・アース線を結束バンド付近まで引っ張り、結束バンドを閉めて固定します。

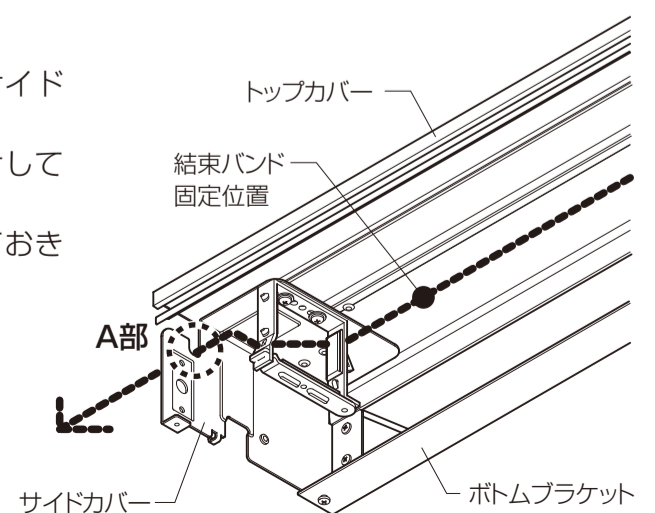


<屋内配線の場合>

- ・事前に配線されている屋内側の配線の方向に電源線・アース線を固定します。
- ・結束バンドの内1本は屋内配線への引き込み口付近に取付けしてください。
- ・余った電源線・アース線は外付ブラインドに干渉しないように処理してください。

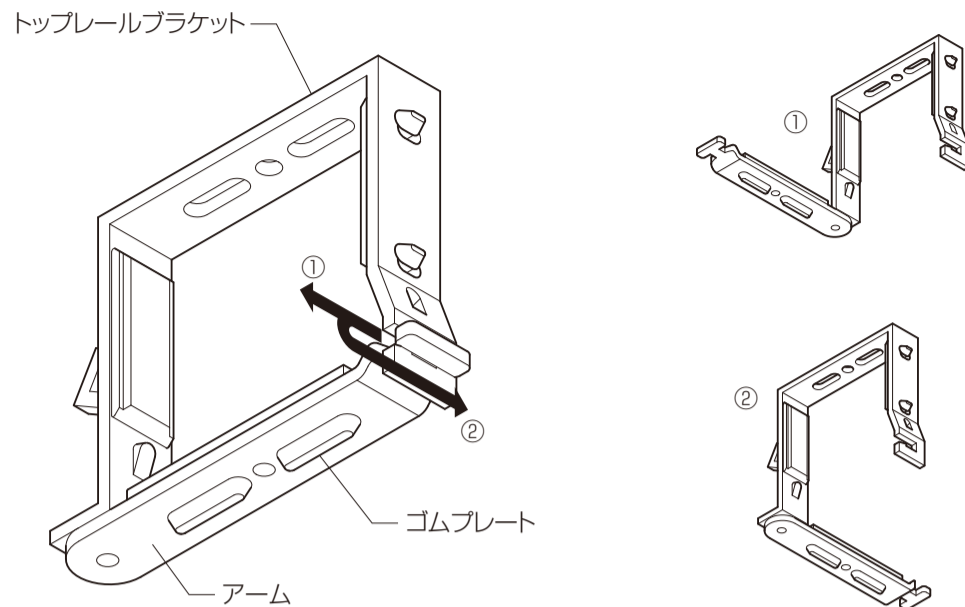
<屋外配線の場合>

- ・屋外コンセントの位置を確認し、左右どちらかのサイドカバーまで、電源線・アース線を引っ張ります。
- ・結束バンドの内1本はサイドカバーの付近に取付けしてください。
- ・サイドカバーのA部から電源線・アース線を出しておきます。



6 ブラインドユニットの取付け準備

ユニットケースに取付いているトップレールブラケットのアームを開いた状態にします。
※アームに取付いているゴムプレートが外れていないことを確認してください。
※トップレールブラケットの取付け位置により開き方向は①②の2種類あります。

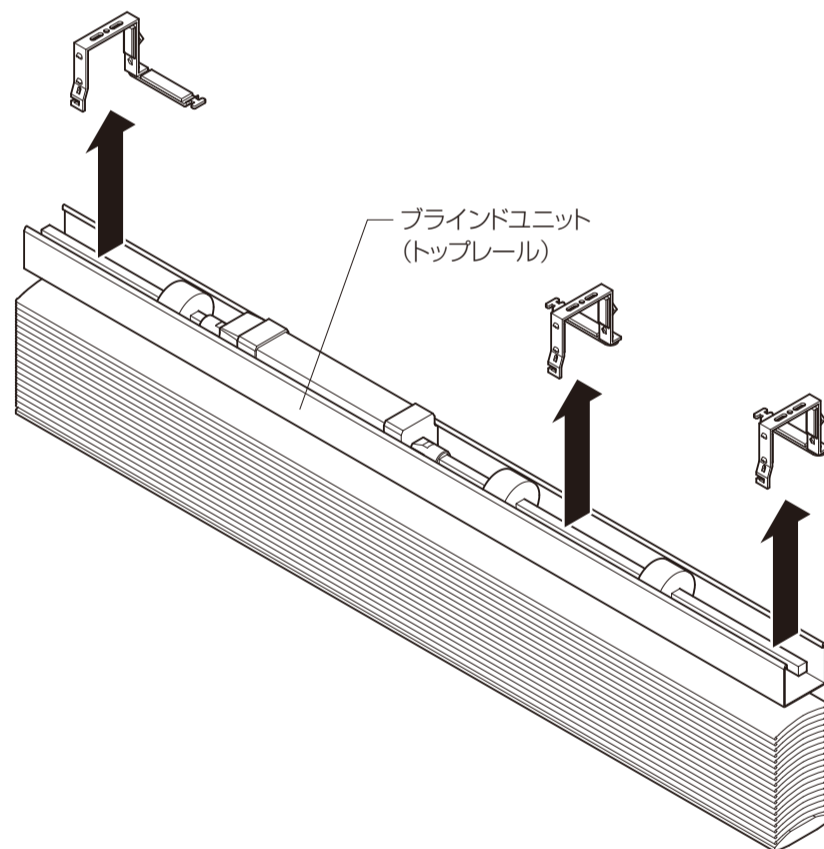


7 ブラインドユニットの取付け

トップレールブラケットにブラインドユニットを入れ、トップレールブラケットのアームを閉じます。
※ブラインドユニットのラベルを確認し、ラベル貼付け面が室内側になるようにします。
※ブラインドユニット取付けの際に、トップレールブラケットの中にモーター配線を挟み込まないようにしてください。
※左右のサイドカバーとのすき間が均等になるよう取付けます。

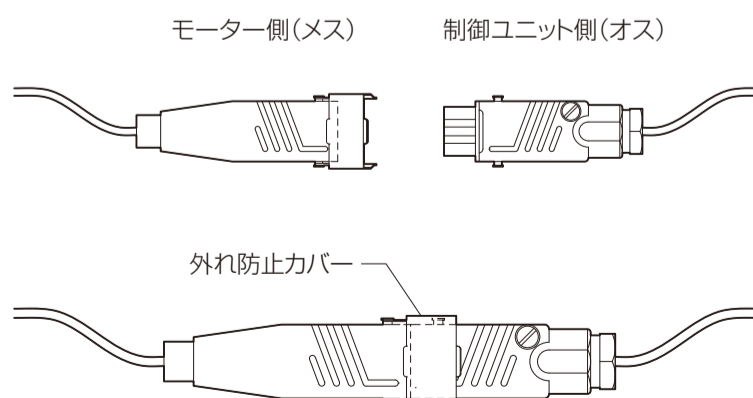
▲ 注意

- トップレールブラケットのアームは確実に閉じていることを確認してください。外れてブラインドユニットが落下するおそれがあります。



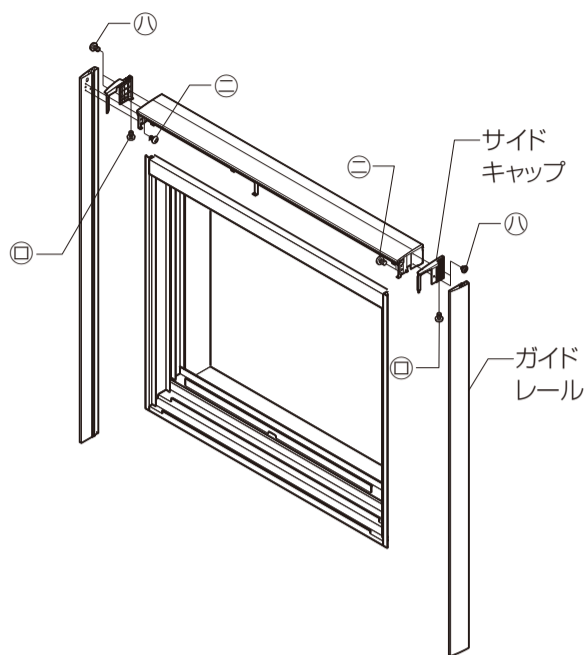
8 コネクターの接続

モーター側のコネクターと制御側のコネクターを接続します。
※根元までしっかり押しこみ、接続後は外れ防止カバーを倒してください。



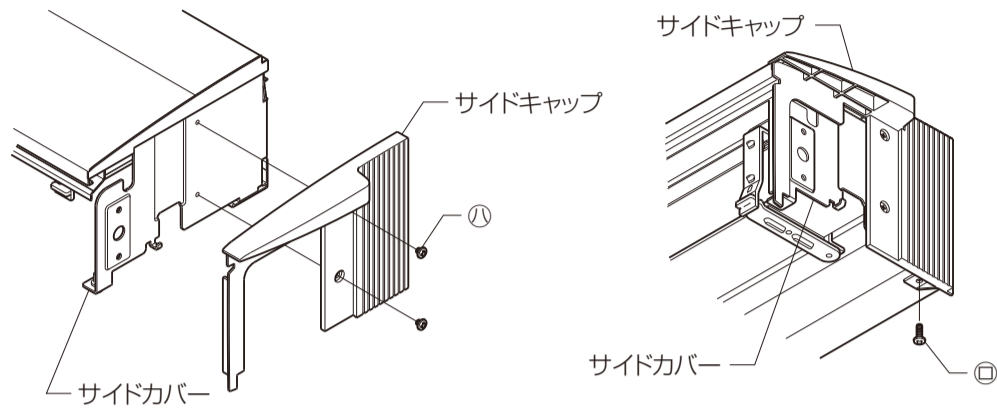
※モーター配線に付いているクリップをブラインドユニットに引っ掛けてコードが垂れ下がらないようにしてください。

9 サイドキャップ・ガイドレールの取付け

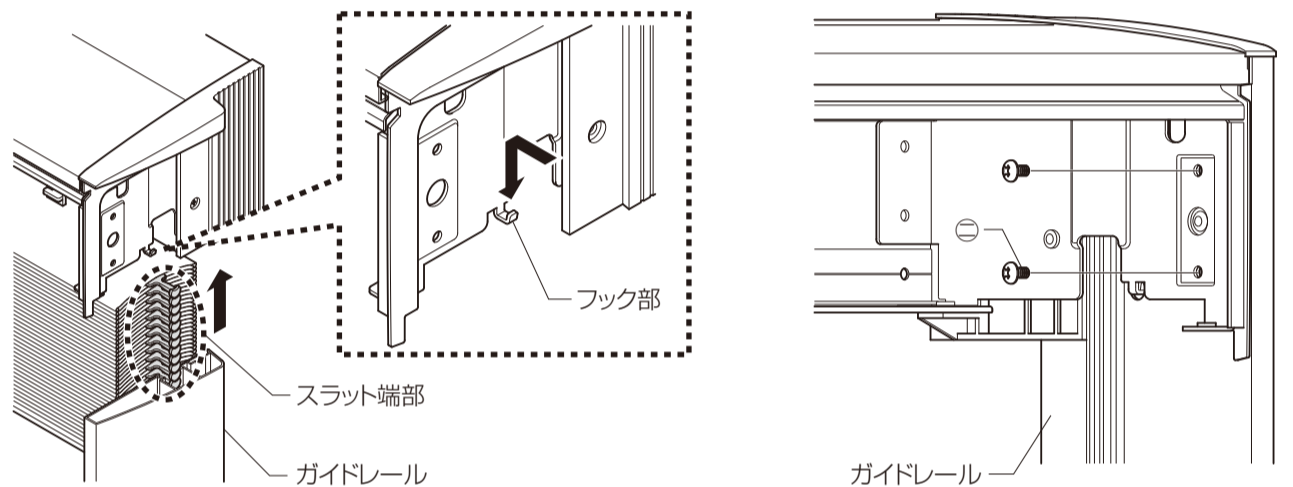


- ①ユニットケース両端部のサイドカバーにサイドキャップを①平バインド小ねじで固定します。
- ②先ほど②ユニットケースの仮固定の際に保管しておいた②バインド小ねじでサイドキャップ・サイドカバー・ボトムブラケットを共締めします。

●お願い●
※ねじ頭がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



- ③ガイドレールの上端部からスラット端部を挿入し、サイドカバーにあるフック部にガイドレール上部の穴を引っ掛けるようにします。
- ④サイドカバー内側から③トラス小ねじ(ゆるみ止め付き)でガイドレール上部を固定します。

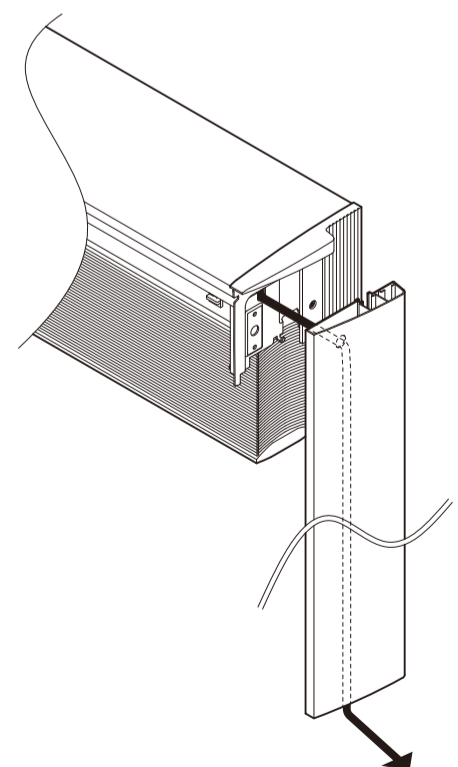
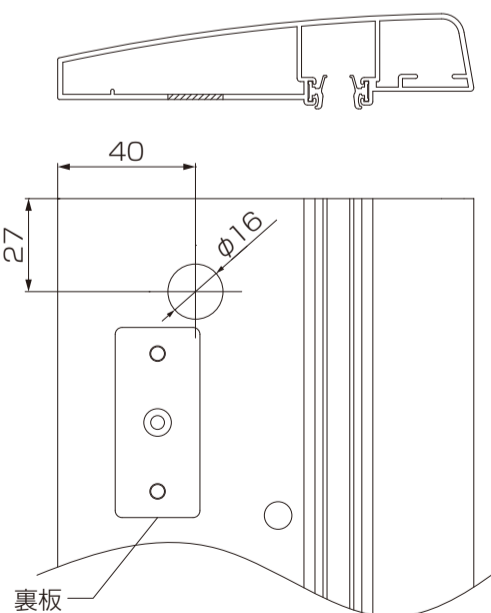


▲注意

●ガイドレールのねじ固定まではガイドレールから手を離さないようにしてください。ガイドレールが落下するおそれがあります。

<屋外配線の場合>

ガイドレール固定の前にガイドレールの下図の位置にφ16以上の穴をあけ、サイドカバーに引っ掛けておいた電源線・アース線を通して下端から出しておきます。
※裏板にドリルが当たらないよう、穴径はφ16以上、φ20以下を推奨します。



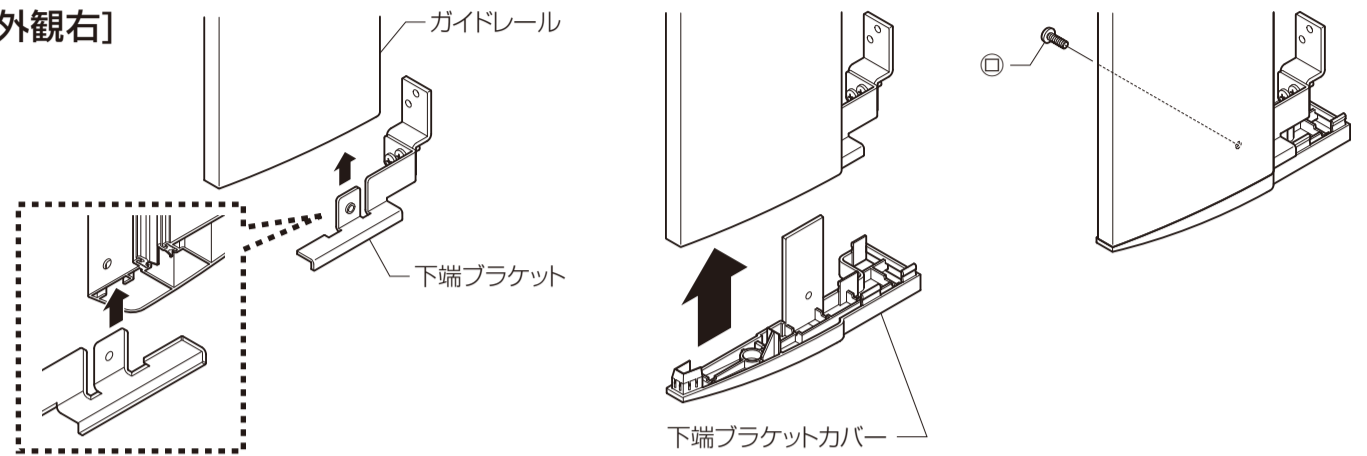
ガイドレールの外面に貫通しないよう注意してください。
ドリルのチャックからの飛び出し量は16mm以下を推奨します。

10 下端ブラケットの取付け

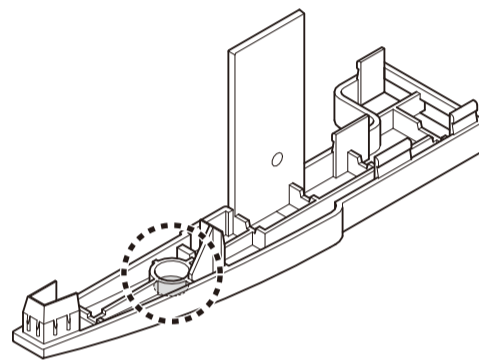
下記の手順で左右のガイドレールの下端部に下端ブラケットと下端ブラケットカバーを取付けます。

- ①ガイドレールに下端ブラケットを挿入します。
- ②ねじ穴を合わせながら下端ブラケットカバーを挿入します。
- ③◎バインド小ねじで下端ブラケットカバー・ガイドレール・下端ブラケットを共締めします。

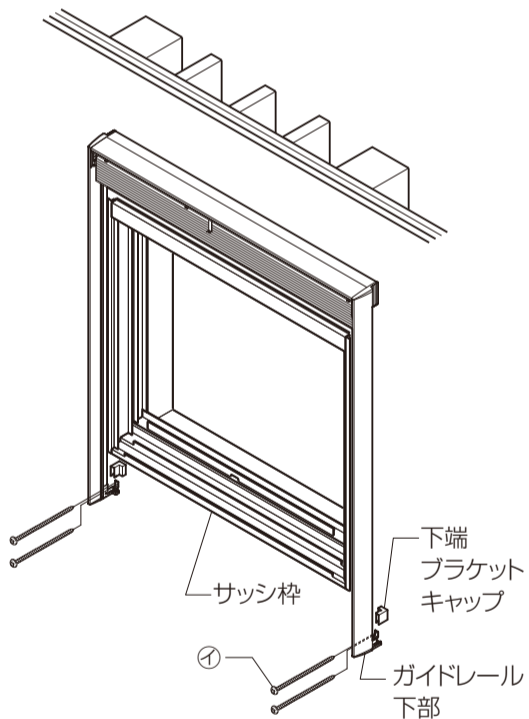
[外観右]



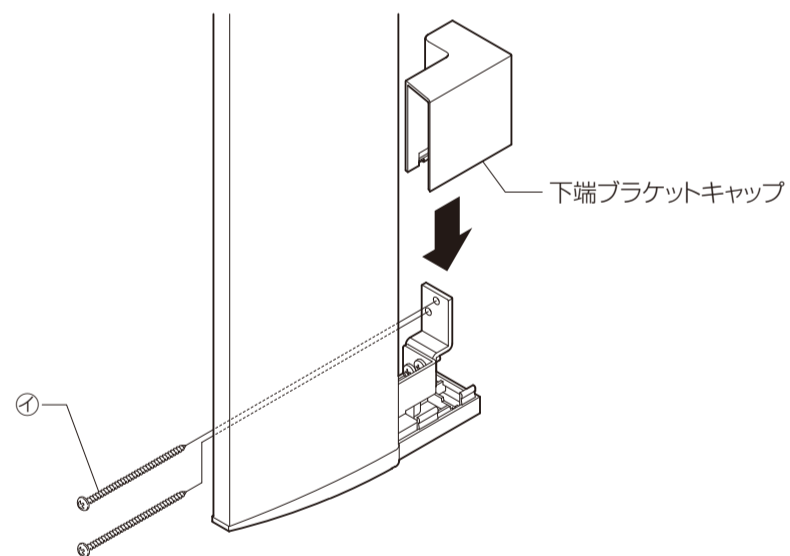
※屋外配線でガイドレール内に電源線・アース線を通してある場合には、
下端ブラケットカバーの下記の位置にφ10の穴をあけて電源線・アース線を通してください。



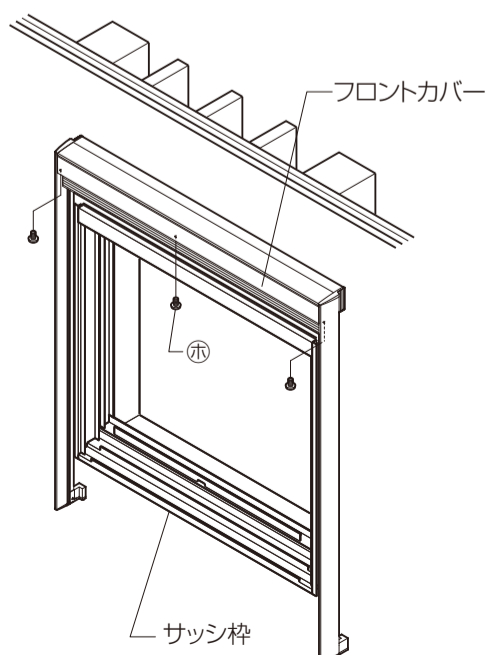
11 ガイドレール下部の固定



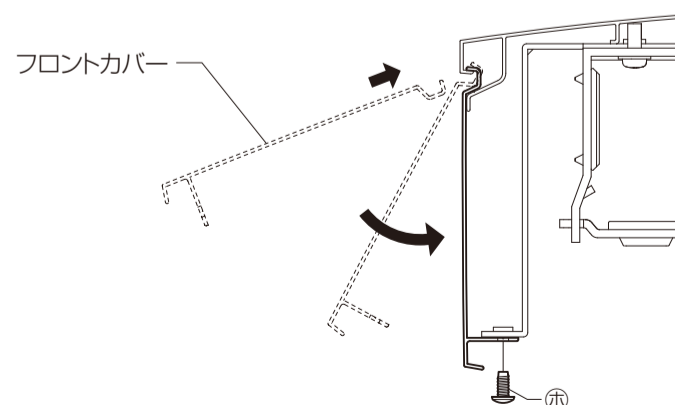
- ①下端ブラケットの穴にあわせてけがきます。この時、ガイドレールの垂直がでていることをさげ振り等を使って確認します。
- ②けがきにに合わせて壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
- ③下穴に①バインドコースレッドねじを締めこみます。
- ④下端ブラケットキャップを広げて、ツメがかかるように取付けます。



12 フロントカバーの取付け

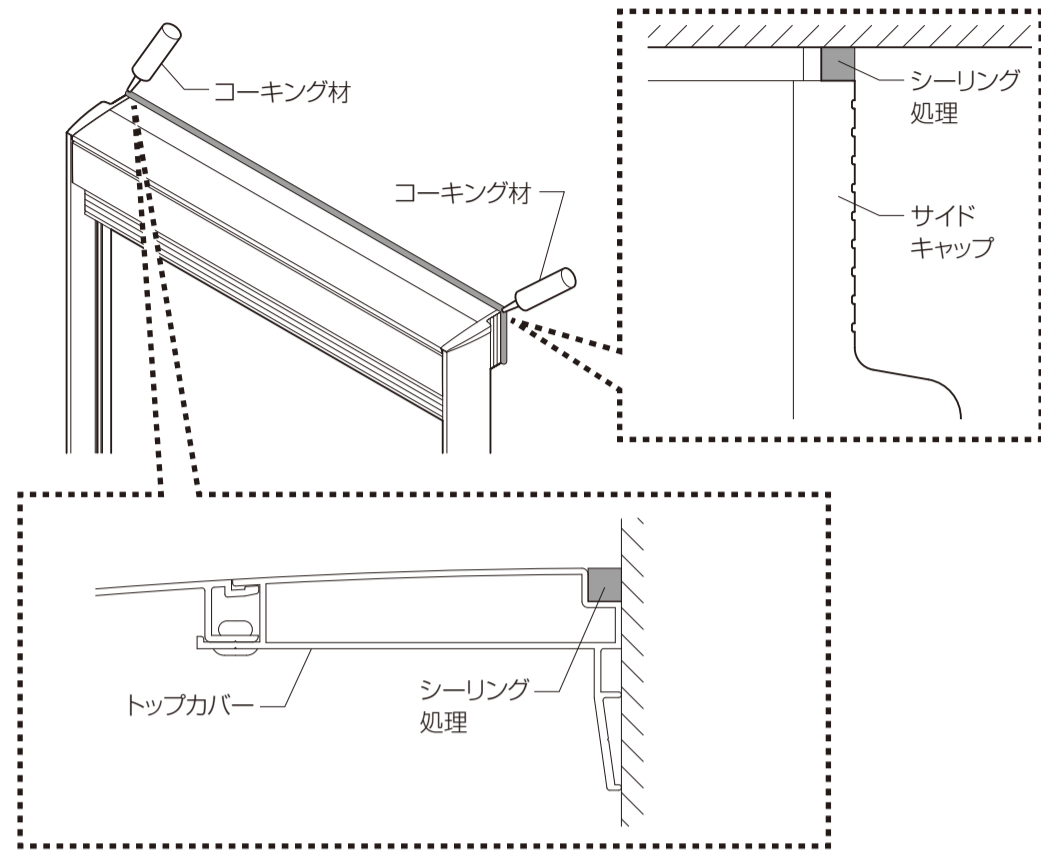


フロントカバーをユニットケース所定位置に差し込み◎バインド小ねじ(ゆるみ止め付き)で3カ所固定します。



13 ユニットケースまわりの
シール処理の実施

ユニットケースまわりの3方にシーリング処理を実施します。
※シーリングを行う前に養生テープをはがしてください。



▲ 注意

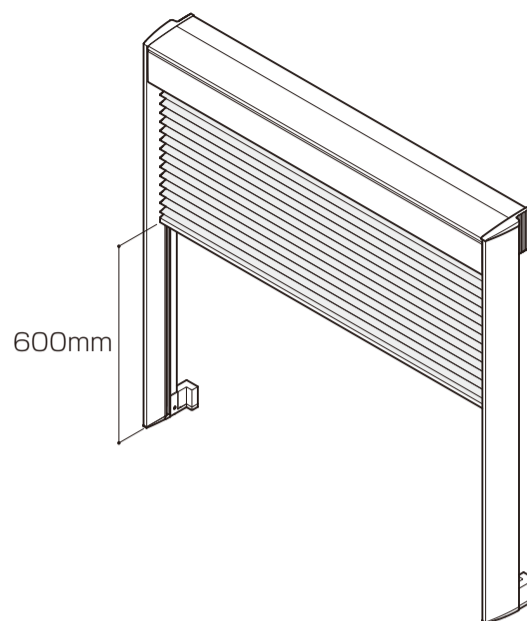
- 枠まわりへのシーリングを行なう前にコーキング材がきちんとのるよう下地処理を必ず行なってください。漏水の原因になるおそれがあります。

■下限位置変更の手順

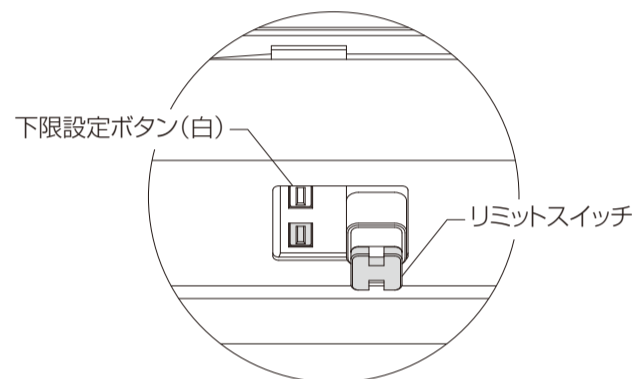
1 下限位置の設定変更 (規格サイズのH寸法を変更して 使用する場合)

■下限位置変更の手順

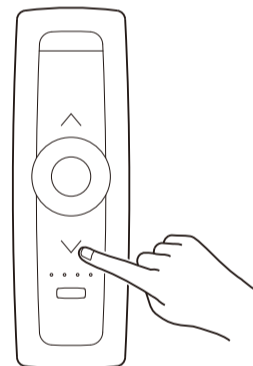
①下限に設定したい位置から上部600mm程度の位置まで作動させ、停止スイッチを押してブラインドを停止させます。



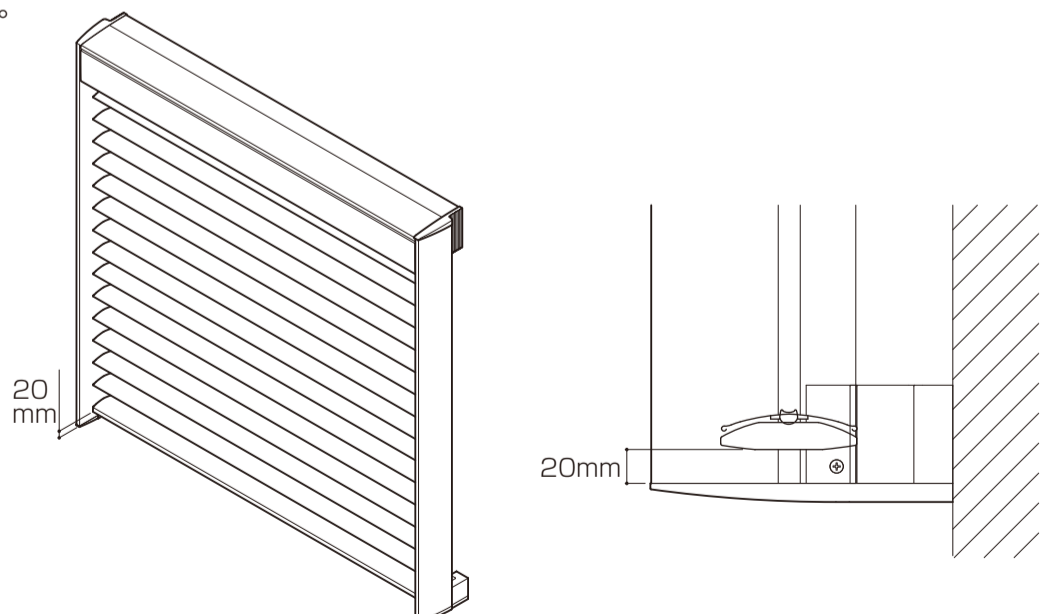
②ブラインドユニット下部(ユニットケース内)のモーターの下限設定ボタン(白)とリミットスイッチを同時に押し込みます。



③②の下限設定ボタン・リミットスイッチを押したままリモコンの閉スイッチを押し、ブラインドを下降させます。ブラインドの下降が始まると下限設定ボタンが固定されるので、下限設定ボタンとリミットスイッチから手を離します。



④下限位置(ガイドレール下端からおよそ20mm±10mm)でブラインドを停止させた後、リモコンの開スイッチを押してブラインドを開方向に作動させます。この時モーターの下限設定ボタンが戻り、設定が完了します。



下限位置で停止スイッチを押さなかった場合、上昇していきます。すぐに停止スイッチを押してブラインドを停止させてください。

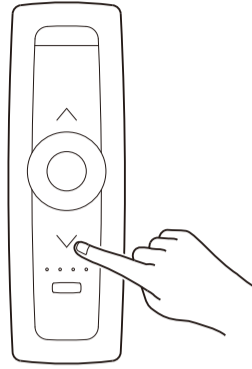
※③の操作の後、リモコンの停止スイッチと閉スイッチで位置の調整は可能ですが、開スイッチを押してしまうと下限設定が完了してしまうので注意してください。

その場合は、開スイッチを押して①の下限に設定したい位置から上部600mm程度の位置まで作動させてください。その後、開スイッチで上昇、閉スイッチで下降することを確認し、①の操作からやり直してください。

■動作確認手順

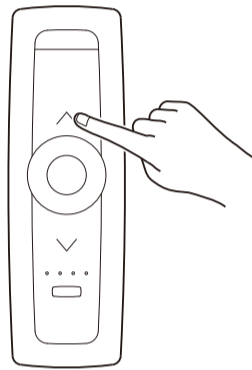
1 閉方向の動作確認

- ①リモコンの閉スイッチを押します。
- ②下限位置で自動で停止することを確認します。



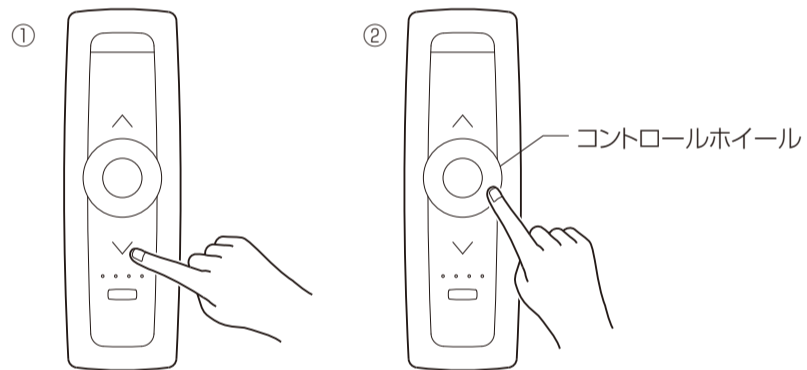
2 開方向の動作確認

- ①リモコンの開スイッチを押します。
- ②上限で自動で停止することを確認します。



3 スラットの角度操作確認

- ①リモコンの閉スイッチを押して下限位置まで動作させます。
- ②外付ブラインドが下がった状態でリモコンのコントロールホイールを回してスラットの角度が変わることを確認します。



4 停止動作の確認

- ①リモコンの開スイッチを押してブラインドを上げます。
- ②上昇中に停止スイッチを押してブラインドが停止することを確認します。
- ③停止したことを確認したのち、再度リモコンの開スイッチを押して上限まで動作させたら完了です。

